

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19137
課題名	術中迅速細胞診標本における中枢神経原発悪性リンパ腫と高悪性度神経膠腫の検討
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2022年 12月 31日
研究の対象	2010年1月1日 ～ 2022年12月31日に当院で脳腫瘍の手術を受けた方、およびこれから手術を受けられる方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：性別、手術時年齢、病理学的診断内容等） <input checked="" type="checkbox"/> ※ 診療情報は診療録、手術記録、病理診断報告書の情報を使用します <input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：病理組織標本および細胞診標本） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：弘前大学大学院保健学研究科） （提供方法：個人が特定できない病理組織標本・細胞診標本のマイクロ画像は、画像解析のために共同研究施設に提供することがあります。提供先施設への電子的配信や記録媒体の郵送にて提供いたします。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院病理部の研究責任者が保管・管理します。） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ）
研究組織	旭川医科大学病院 病理部 責任者:宮川 京大  <b>【共同研究機関】</b> 弘前大学大学院保健学研究科（生体検査科学領域） 責任者:渡邊 純
研究の意義、目的	中枢神経原発悪性リンパ腫は原発性脳腫瘍の2%と稀ですが、近年は増加傾向にあります。中枢神経原発悪性リンパ腫は腫瘍切除の適応にはならないため、術中に神経膠腫などの腫瘍切除が必要とされる疾患と確実に鑑別する必要があります。しかし、中枢神経原発悪性リンパ腫の術中迅速診断、術中迅速細胞診の精度はいずれも完全ではなく、他の腫瘍より診断精度が低いことや、神経膠腫との鑑別が困難な場合があることも報告されています。当院における中枢神経原発悪性リンパ腫の診断精度と細胞学的特徴を後方的に検討するとともに、鑑別の問題となる疾患の症例に関しても細胞学的特徴を検討いたします。当院においては、特に高悪性度神経膠腫との鑑別に苦慮した症例が比較的多く経験されていたため、中枢神経原発悪性リンパ腫と高悪性度神経膠腫を中心とする鑑別

	<p>疾患の細胞学的所見に関して比較検討を実施します。本研究は中枢神経原発悪性リンパ腫の診断精度向上およびそれによる脳腫瘍の手術における侵襲の減少が期待されます。</p>
研究の方法	<p>手術中に採取された脳腫瘍の病理組織標本および細胞診標本を光学顕微鏡にて詳細な観察をし、後ろ向きに事例検討をします。細胞診標本のミクロ画像を撮影し、解析します。時に画像解析ソフトを使用する場合があります。これらの解析に際して、一部診療録、手術記録、病理診断報告書を閲覧する場合があります。</p> <p>氏名、病院診療録 I D などの個人情報と分離して匿名化を行います。診療録、病理診断報告書から抜粋した調査項目は、試料・情報等の保管期間終了後に紙媒体の研究資料はシュレッダー処理を行って廃棄、電子データは完全に消去します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用されることはありません。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  旭川医科大学病院 病理部 臨床検査技師 宮川 京大（研究責任者）  〒078-8510  旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号  電話 0166-69-3392</p> <p>研究代表者：旭川医科大学病院 病理部 臨床検査技師 宮川 京大</p>